

2019

選挙広告のご案内

選挙の毎日

第25回 参議院議員選挙

2019



使用データ概要

[2018年度全国新聞総合調査 (J-READ Basic 2018)]

- 調査地域 ● 全国47都道府県主要エリア
- 調査対象 ● 満15～74歳の男女個人
- 調査期間 ● 2018年10月21日(日)～10月27日(土)
- 抽出方法 ● ①(株)ビデオリサーチの過去調査対象者のリストから抽出
②上記抽出で目標有効標本数に不足している標本を「地点・個人」の多段抽出し、調査員訪問による依頼
- 調査方法 ● 調査依頼に応諾した対象者に対し、後日郵送で調査票を送付し、記入完了後、調査票を郵送
- 有効回収数 ● 12,242人
- 調査主体 ● (株)ビデオリサーチ

[J-MONITOR調査(第48回衆議院議員選挙 投票行動調査)]

- 調査日 ● 2017年10月29日(日)
- 調査対象者 ● 毎日新聞読者モニター
- 対象者年齢 ● 15～69歳の男女個人
- 有効回答数 ● 249人
- 調査エリア ● 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)
- 調査方法 ● ウェブ調査
- 調査主体 ● 毎日新聞社
- 調査実施機関 ● (株)ビデオリサーチ

[J-MONITOR調査(第24回参議院議員選挙 投票行動調査)]

- 調査日 ● 2016年7月14日(木)
- 調査対象者 ● 毎日新聞読者モニター
- 対象者年齢 ● 15～69歳の男女個人
- 有効回答数 ● 241人
- 調査エリア ● 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)
- 調査方法 ● ウェブ調査
- 調査主体 ● 毎日新聞社
- 調査実施機関 ● (株)ビデオリサーチ

毎日新聞社 営業総本部

- 第二営業本部 ● 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
TEL.03-3212-0321(代)
- 大阪営業本部 ● 〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5
TEL.06-6345-1551(代)
- 西部営業本部 ● 〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13-1
TEL.093-541-3131(代)
- 中部営業部 ● 〒450-8651 名古屋市中村区名駅4-7-1
TEL.052-527-8000(代)
- 北海道営業部 ● 〒060-8643 札幌市中央区北四条西6-1
TEL.0570-064-988(代)

- ニュースサイト「毎日新聞」
<https://mainichi.jp/>
- 毎日新聞社ホームページ
<https://www.mainichi.co.jp/>
- 毎日新聞社営業総本部ホームページ
<https://macs.mainichi.co.jp/>

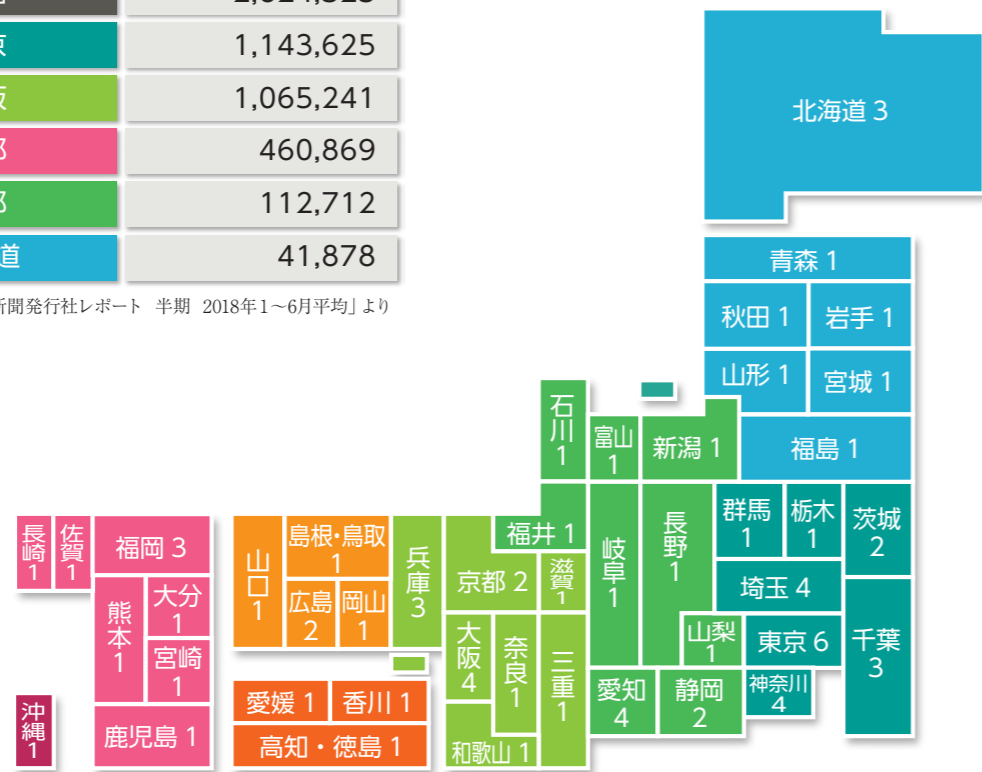
280万部の販売部数。 約600万人にリーチ可能。

国内第3位
一千万人可能。

◆ 毎日新聞の発行部数と参議院議員選挙の選挙区別改選人数

全国	2,824,325
東京	1,143,625
大阪	1,065,241
西部	460,869
中部	112,712
北海道	41,878

※日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期 2018年1～6月平均」より



定数 248	選挙区選挙	改選人数74人 (定数148人)
	比例代表選挙	改選人数50人 (定数100人)

北海道	41,522	栃木県	33,520	富山県	1,351
青森県	4,741	群馬県	39,280	石川県	1,733
岩手県	8,546	埼玉県	229,266	福井県	1,879
宮城県	8,999	千葉県	157,258	長野県	12,420
秋田県	8,441	東京都	243,912	岐阜県	13,119
山形県	17,453	神奈川県	143,180	静岡県	40,784
福島県	24,513	山梨県	8,436	愛知県	49,922
茨城県	118,306	新潟県	20,049	三重県	62,339

◆ 毎日新聞の推定到達人数



販売部数
2,824,325部

回読人数 ※1
2.11人

ビデオリサーチ J-READ Basic 2018データより

※2 単読率=
91.2%

推定到達人数
5,959,326人

そのうち毎日新聞単読者は
5,434,905人

ビデオリサーチ J-READ Basic 2018データより

※1 回読人数:ある特定新聞が1部(世帯)あたり何人に読まれているかの人数を示したものです。

※2 単読率:ある特定新聞読者が他紙を併読していない、その新聞のみの定期購読者である率です。

毎日新聞しかリーチできない層

滋賀県	52,725	岡山県	14,382	佐賀県	9,443
京都府	59,069	広島県	18,002	長崎県	30,614
大阪府	506,869	山口県	106,418	熊本県	7,965
兵庫県	154,990	徳島県	2,442	大分県	21,209
奈良県	138,006	香川県	8,939	宮崎県	17,857
和歌山県	65,167	愛媛県	16,212	鹿児島県	2,958
鳥取県	4,264	高知県	2,423	沖縄県	268
島根県	7,125	福岡県	260,364	海外・即売・郵送ほか	25,645

※日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期 2018年1～6月平均」より

“投票する年代”=50~

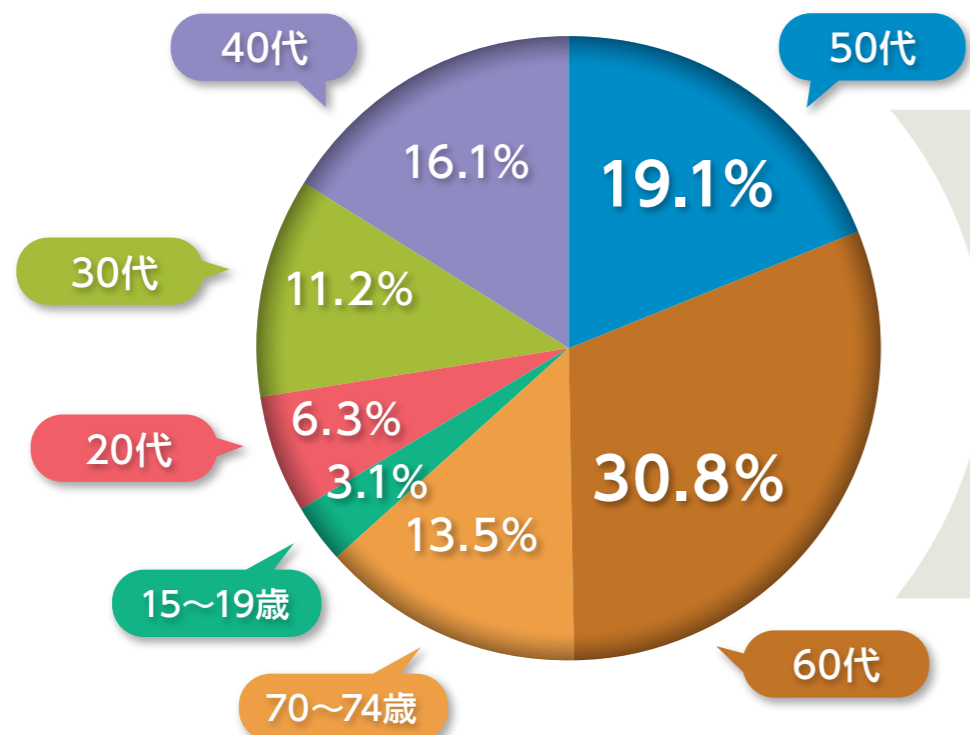
選挙の鍵を握るのは、投票者数・投票率ともに高い50~

70代がメイン読者。

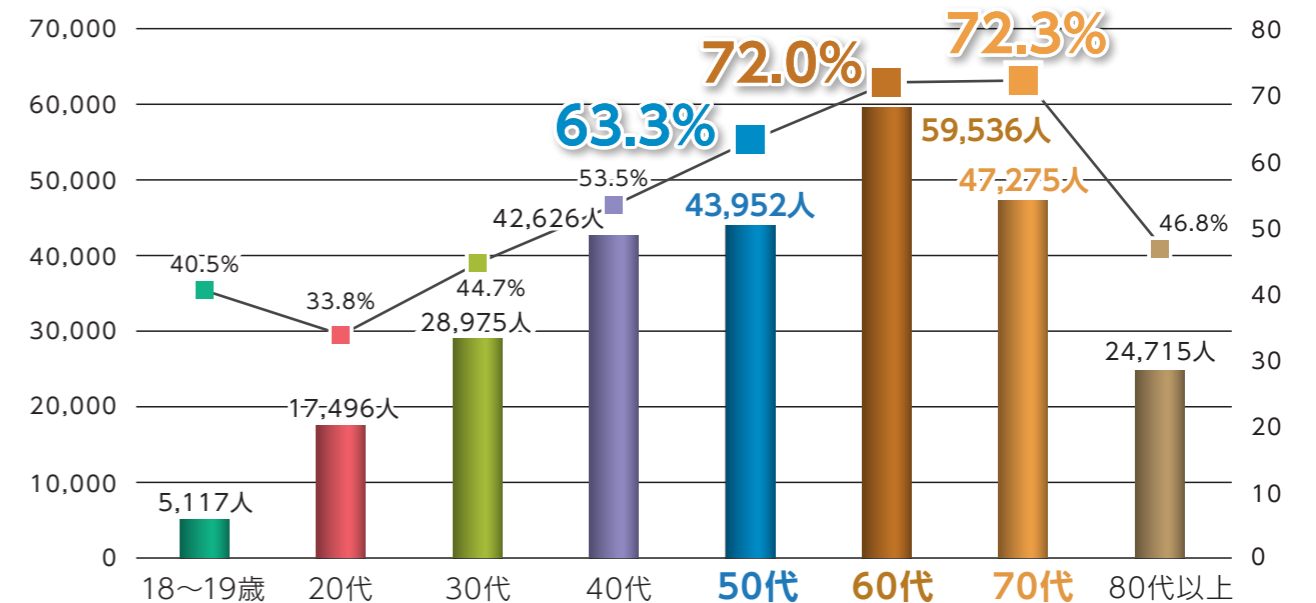
70代。毎日新聞読者のボリュームゾーンと重なります。

▶ 毎日新聞読者年代別構成比

単位：%、ビデオリサーチ J-READ Basic 2018データより



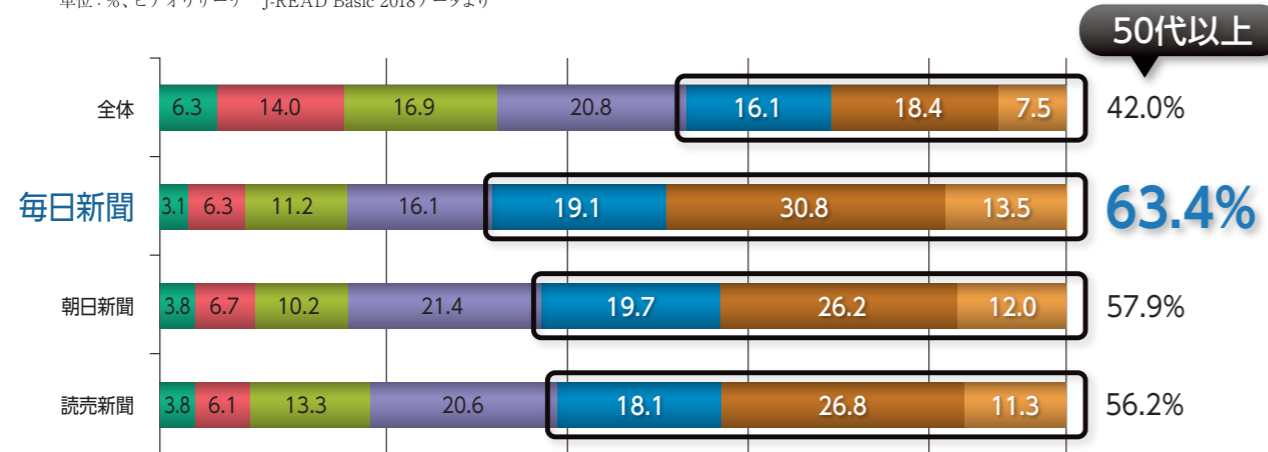
▶ 2017年衆議院議員選挙における年代別投票者数と投票率



財団法人選挙推進協会「第48回衆議院議員総選挙における年齢別投票率」データより
(各都道府県から計188投票区を抽出し投票者数・投票率を年代別に集計。ただし18~19歳は全数調査によるもの)

▶ 各紙読者年代別構成比較

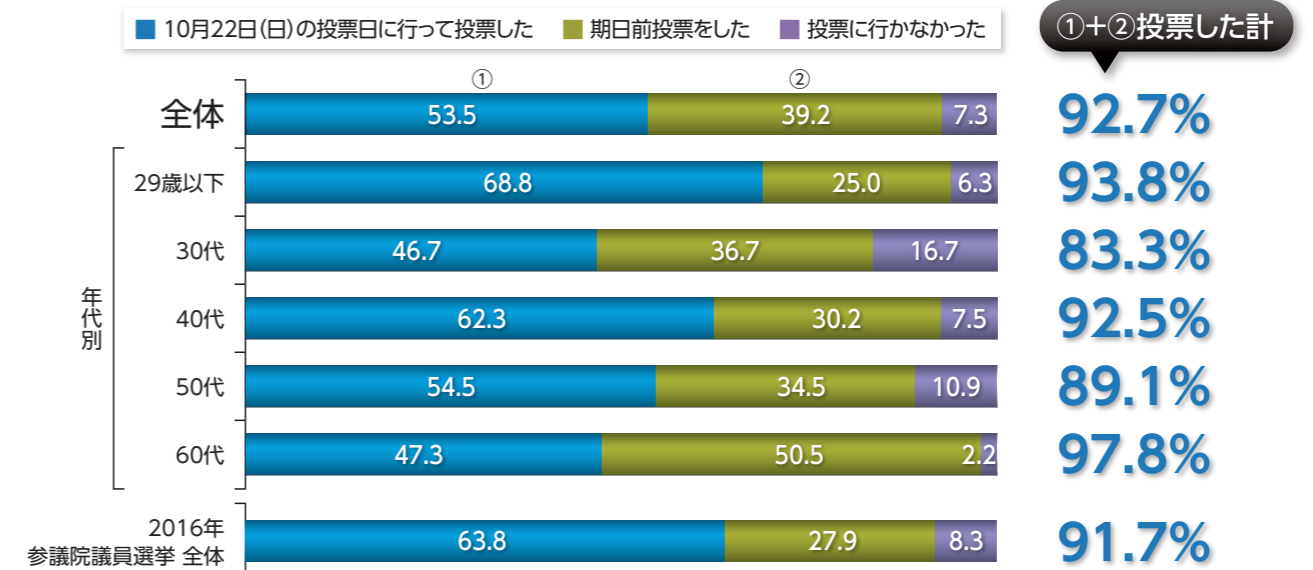
単位：%、ビデオリサーチ J-READ Basic 2018データより



◆ 2017年衆院選投票状況(毎日新聞読者)

※対象:有権者

▶ 2017年衆議院議員選挙に行きましたか。

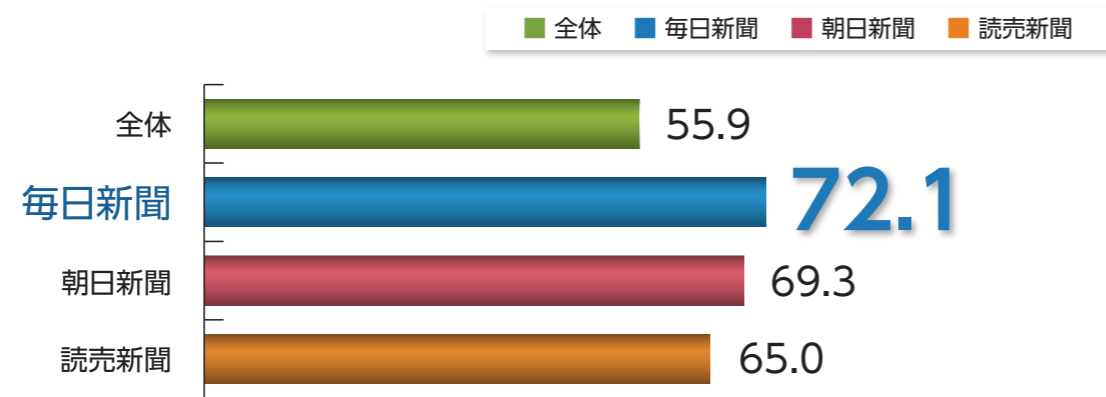


2017年 J-MONITOR 「第48回衆議院議員選挙 投票行動調査」
2016年 J-MONITOR 「第24回参議院議員選挙 投票行動調査」

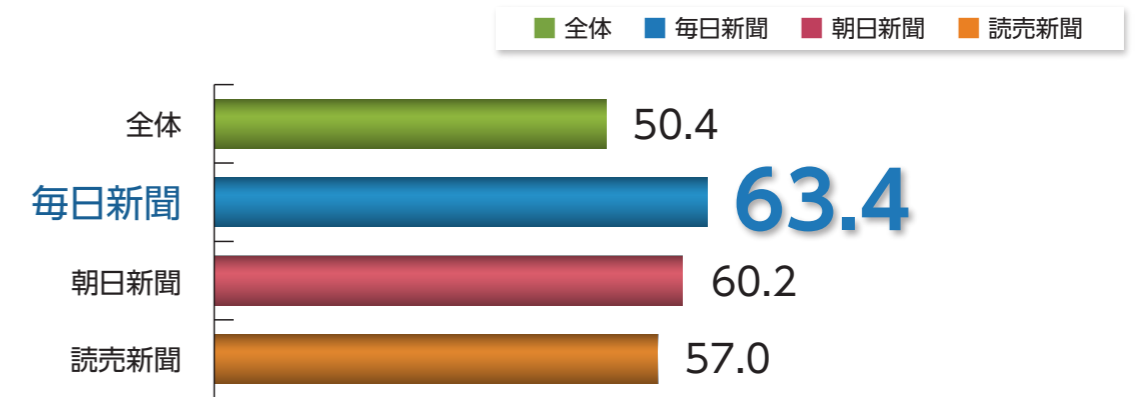
政治参加意識が高い 毎日新聞読者。

単位：%、ビデオリサーチ J-READ Basic 2018 全国新聞朝刊読者データより ※1

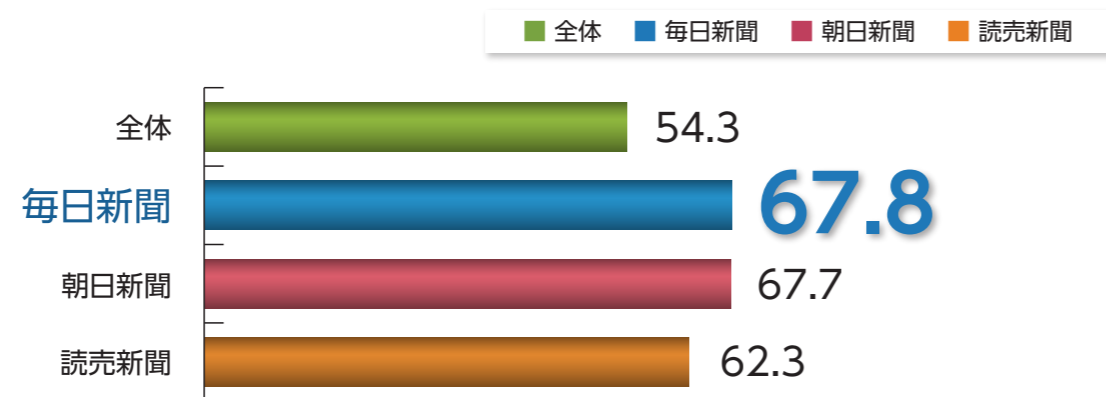
▶ 国政選挙(衆院選、参院選)では必ず投票する



▶ 政治問題に関心がある



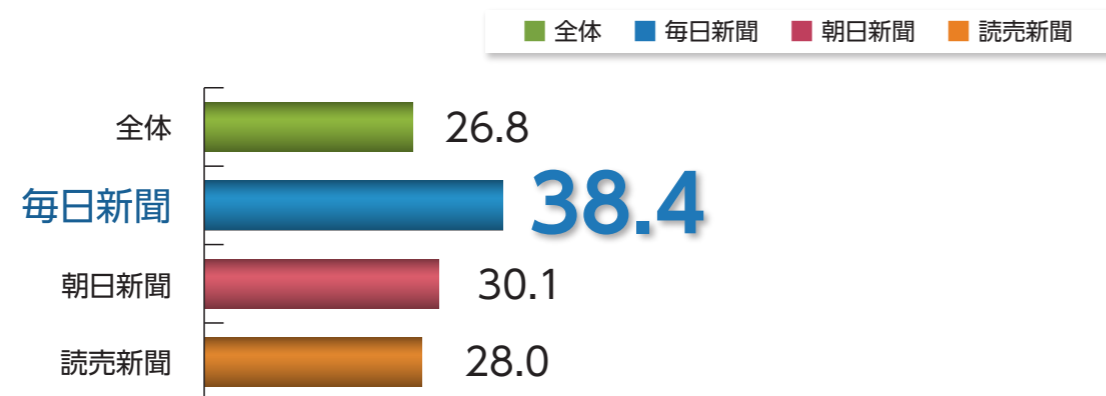
▶ 地方選挙(知事選、都道府県議選など)では必ず投票する



▶ 政治に関する話を周囲の人とよくする



▶ 期日前投票を利用するほうだ

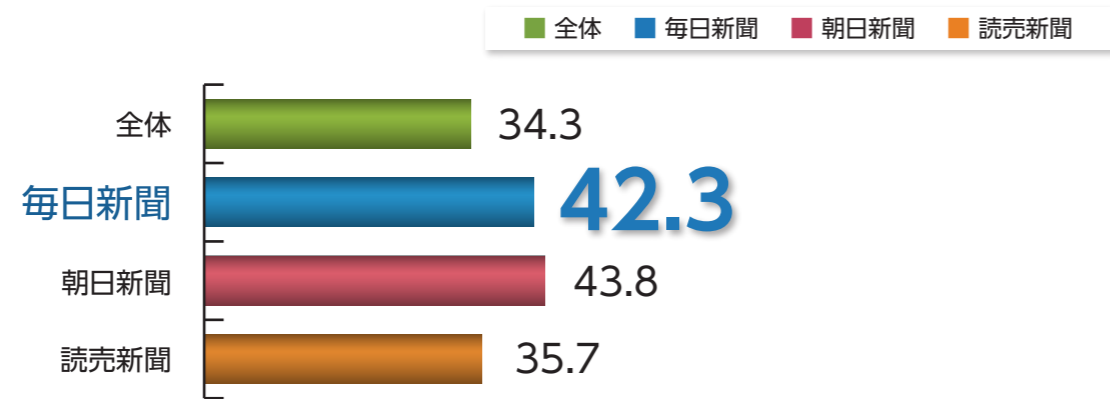


▶ 選挙の広告に関心がある

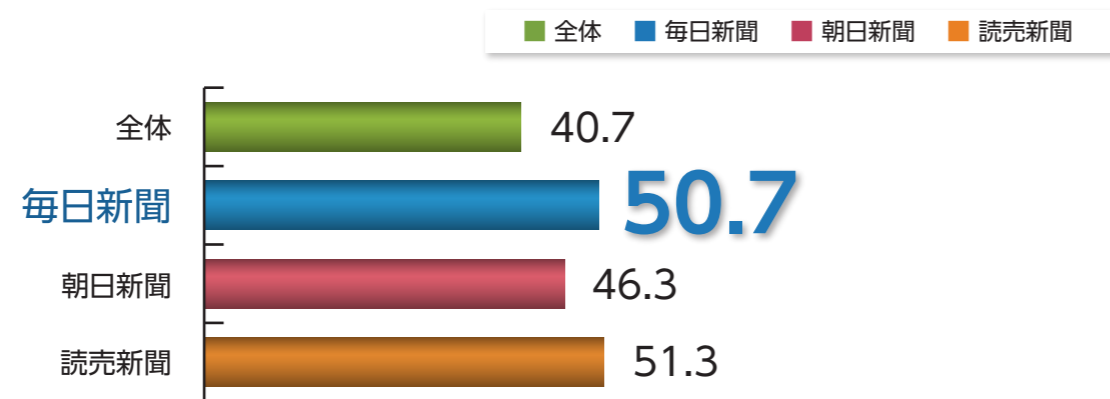


毎日新聞読者 = “問題意識の高い無党派層”が多い。

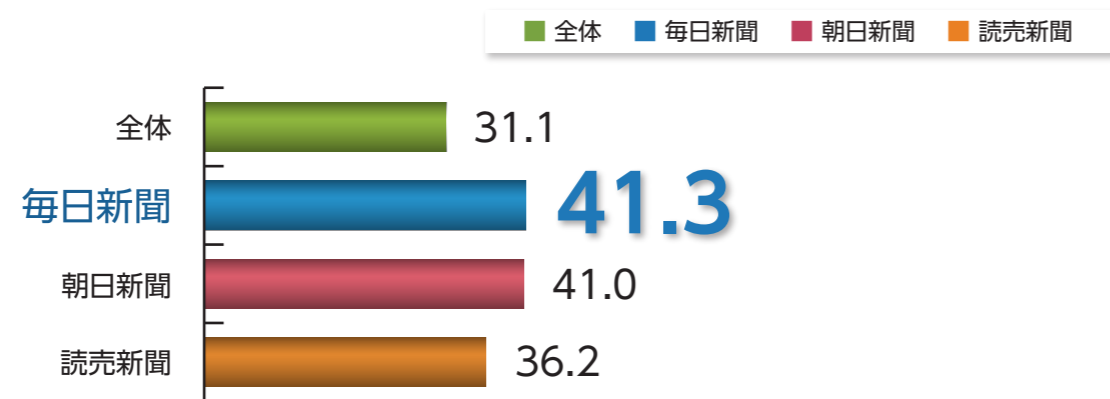
▶ 政治に関心はあるが無党派層である



▶ 国政・行政・外交に関心がある



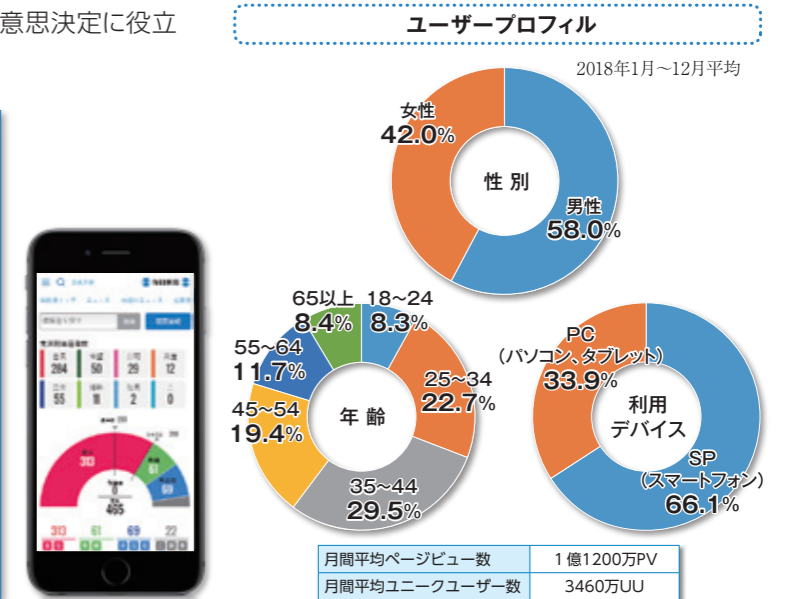
▶ 選挙は候補者や政党の主張を重視



PCでも、スマートフォンでも、「選挙の毎日」

▶ ニュースサイト「毎日新聞」 <https://mainichi.jp/>

毎日新聞社の運営するニュースサイト「毎日新聞」は、速報ニュースを中心に、全国・世界各国で取材している記者が発信した記事を随時アップしているニュースサイトです。その中に選挙情報に特化した特設ページを設け、関連ニュースを一覧できるサービスを提供しています。また毎日新聞ポータル「えらぼーと」と連動し、インフォグラフィックで展開するなど、投票の意思決定に役立つサイトとなることを心がけています。



▶ 毎日新聞ポータル「えらぼーと」

毎日新聞社は、2007年の参議院議員選挙で日本のメディアとして初めて「ポータル」を実施し、20～30代の若者から「争点がよくわかった」「投票の参考になった」などの好評を得ました。衆議院選挙や参議院選挙などで計9回実施して、延べ約350万人以上の利用があり、またTwitterやFacebookなどのSNSへも5万件以上の投稿がありました。



「えらぼーと」は国政選挙の争点に関する質問に答えることによって、自分と政党・候補者の考え方の近さを「一致度」という数値で知ることができます。政党との一致度を知り「選挙区」や「比例区」の立候補者個人との一致度を比較するなどして、投票の参考にできるツールです。

毎日新聞社が全国に展開する支局のネットワークにより実施できる、他のネットメディアではまねできないサービスです。

ソーシャル連携を強化。気になる争点のSNS上のコメントが確認できるなど、より理解が深まる「えらぼーと」に進化しました。

第25回参議院議員選挙でも実施予定

選挙広告掲載についてのご案内

種別

1 選挙区選挙候補者広告

- 立候補者が選挙運動期間中に選挙に関して行う広告です。
- スペースは2段1/4 (横9.4cm×縦2段) 以内となります。
- 回数は5回までとなります。(合同選挙区は10回)
- 費用は国庫負担です。



2 比例代表名簿届出政党等広告

- 名簿届出政党等が選挙運動期間中、選挙に関して行う広告です。
- 内容は、参議院選挙比例代表に関する選挙運動についてのみに限ります。(それ以外の選挙運動については触れられません)
- スペースは名簿登載者数に応じて各名簿届出政党等に一括して与えられます。

名簿登載者数	合計段数	回数
1~8人	20段組以内	40回以内
9~16人	28段組以内	56回以内
17~24人	36段組以内	72回以内
25人以上	44段組以内	88回以内

- 1回あたりの広告スペースは、横9.4cm (1/4) ×縦1段組の整数倍 (2倍以上) となります。したがって最小スペースは2段1/4または1段1/2で、最大スペースは全15段です。
- 費用は国庫負担です。
(ただし、参議院名簿届出政党等の得票率が全国の有効投票数の1%に満たない場合、国庫負担にはなりません)

3 政党広告

- 政党その他の政治団体が私費で行う広告です。
- 広告段数や回数および掲載時期、エリアの法定制限はありません (投票日当日掲載も可)。

料金

1 国庫負担による広告

- 日本新聞協会を通じて総務省選挙部管理課へ提出する「選挙広告料金表」(別紙)によります。

2 私費による広告

- 「毎日新聞広告料金表」によります。

掲載上のご注意

1 公費 (国庫負担) の選挙広告の掲載は投票日の前日までとします。

2 掲載範囲

広告種類	掲載範囲
比例代表名簿届出政党等広告	全国版朝刊エリア (原稿切り替えは無し)
東京都選挙区選挙候補者広告	東京本社朝刊セット版エリア (原稿切り替えは無し)
愛知県選挙区選挙候補者広告	中部本社朝刊版エリア (原稿切り替えは無し)
福岡県選挙区選挙候補者広告	西部本社朝刊セット版エリア (原稿切り替えは無し)
その他の道府県	各道府県版エリア (原稿切り替えは無し)

3 併載・同載

- 選挙区選挙候補者広告、比例代表名簿届出政党等広告、政党広告を併載する場合は、それぞれ独立した広告として明確に区画してください。
- 同一候補者の広告を同日付紙面に複数掲載することはできませんが、間の仕切りを取ったり、2つ以上の広告が一体として効果を発揮していると認められる広告は掲載できません。比例代表名簿届出政党等広告も同様となります。

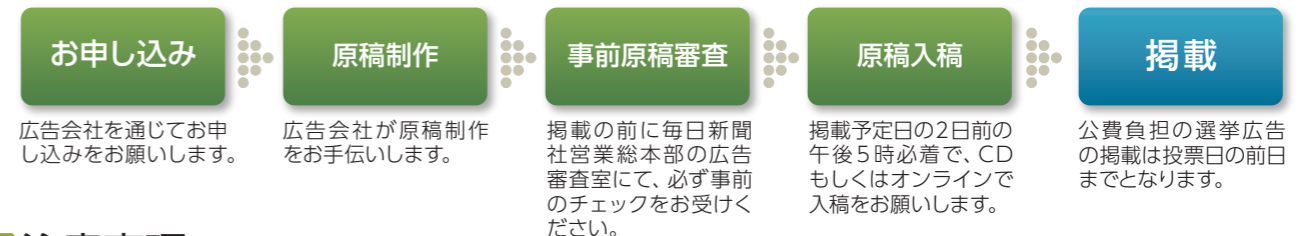
広告掲載の手続き

1 必要なもの



- 広告掲載申込書
- 原稿 (デジタルデータ)
- 念校1枚
- 新聞広告掲載証明書 (公費負担の選挙広告のみ)
- 新聞広告掲載承諾通知書 (公費負担の選挙広告のみ)

2 掲載までの流れ



3 注意事項



- 原稿は、**掲載予定日の2日前の午後5時必着** とします。
- 原稿は、CDもしくはオンラインで入稿してください (在版原稿の流用は不可)。
- 訂正作業はお受けできません。
- 念校ゲラには出稿責任者と取扱広告会社の確認印が必要です。
- 掲載日、掲載範囲については実務上お申し込みのご希望に沿えないことがあります。
- その他一般的な事柄については、毎日新聞広告掲載基準を適用します。